

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	法学研究科
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保
小項目	9.0.5 研究倫理を遵守するために必要な措置をとっているか。
要素	研究倫理に関する学内規程の整備状況 研究倫理に関する学内審査機関の設置・運営の適切性

○2009年度からの目標

1. 昼夜開講制下における学生の勉学・研究を支援するために、資料室の開室時間延長をはじめとする学生の文献資料へのアクセスの改善を図る。
2. 学生の実践的な教育能力および研究能力を向上させるために、TA (教学補佐) の授業・教育支援業務への活用、およびRAの雇用拡大と研究補助業務への活用を検討する。
3. 研究活性化を目的とする外部資金獲得のための研究科内の情報共有体制の整備
4. 全学と歩調を併せて、法学研究科に固有の研究倫理項目を検討し公表する。

○指標

1. 「資料室の開室時間ないし資料室の利用可能時間」「資料室の利用者数 (時間帯別の利用者数を含む)」「学生による資料室利用支援方法の検討およびその進捗状況」
2. 「TAおよびRA業務の内容」「TAおよびRA業務に対する学生および教員のニーズについての調査」「TAおよびRA業務の拡大方法についての検討の進捗状況」
3. 「外部資金取得状況」「外部資金情報の共有化および共同研究の実施のための検討の進捗状況」
4. 「法学部・法学研究科倫理委員会 (仮称) の設置を含めた研究倫理審査体制のあり方に関する検討の進捗状況」